

令和2年度 市民提案型事業  
事業 報 告

# 異文化交流会を通じた昭和地区 「まちとひと」の活性化活動

岡山商科大学 経営学部  
ファイナンシャルプランニングコース  
高林 宏 一 研究室

# 総社市市民提案型事業応募のきっかけ

岡山商科大学では岡山県下で広く地域連携型フィールドスタディに取り組む 2018年度42件



**日ようび子ども大学・キッズマネー教室開催**

2018.6.3  
大学コンソーシアム岡山 教育学部 FP コース  
1～2年生:15名

- 大学コンソーシアム岡山の日ようび子ども大学にて「キッズマネー教室」を開催。
- FPコース2年生が中心となり、参加小学生49名に対して小学生向け金融リテラシー教育を行った。

教育学部 荒川 智一郎 准教授

**「備前醤油の歴史・現状・展望」の調査研究のためのフィールドスタディ**

2018.8.3  
とら醤油株式会社 (倉敷市 西瀬)  
教育学部:14名

- 高梁川沿いに店舗・醸造場を有するとら醤油株式会社において、工場見学を実施し、同社の歴史や現状について説明を受けた。

教育学部 天野 聖哉 教授

**真鏡島小・中学校・公民館合同運動会への参加**

2018.5.19  
笠岡市真鏡島  
法学部:3名、経済学部:3名、経営学部:4名、教育学部:3名

- 現地に降りるバス運賃を割り上げるため卒業生等と共に参加。
- 優勝競争後に出席、準備後合行する中。
- 終了後は和歌で感謝の気持ちを伝えることができた。

教育学部 三好 宏 助教  
経済学部 石原 真 講師 (専攻:経営学)

**岡たまの農山漁村魅力向上推進協議会 農法モニターツアー**

2018.11.24～25  
玉野市  
留学生:10名

- 地元農業者が活用したプログラムを留学生が体験し、産地への理解を深めた。
- 産地、農業者など盛り山なメニューに対し、楽しみながら多くの収穫を出すことができた。

教育学部 三好 宏 教授  
農学官庁センター

**真鏡島にんにく収穫活動**

2018.6.2  
笠岡市真鏡島  
教育学部:3名

- 貸付農機をお手伝いした形で収穫支援。
- 特産品化を目指す「にんにく醤油漬」は、イベント等で販路支援も実施。
- 山崎新報社が記事取りで紹介された。

教育学部 三好 宏 教授

**日生カキオコまちづくりの会主催 日生海のそば試食検討会**

2018.6.9  
カキオコ製麺店 きたろう (岡前市日生地区)  
教育学部:2名

- 夏の解散前対策として地元産産物を入れた蕎麦メニューを候補に、試食会を開催する試食検討会で、日ごろ同会に協力している学生が意見を述べた。

教育学部 三好 宏 教授  
農学官庁センター

# 総社市市民提案型事業応募のきっかけ

岡山商科大学平成30年豪雨災害の発生、ゼミ仲間の被災と復興への取り組み  
昭和地区の住民グループなどとの協働や交流「学生への期待」



- ・ 災害発生直後は大学主導で片付けや軽作業へのボランティア参加
- ・ 9月頃から倉敷、岡山などJR駅前を中心に募金活動を開始
- ・ 卒業生やアルバイト先への物資等寄付の呼びかけ

- ・ 地域コミュニティの方々と地域活動や協議を重ねた結果、復興支援も大変ありがたいが「住民や若者がいなくなる」「商店がなくなり不便」「人が集まらず寂しい」との声が多かった。



# 令和元年度総社市市民提案型事業への申請と結果

令和元年度のゼミ活動と総社市市民提案型事業申請と結果

昭和地区の住民グループなどとの協働や交流「学生への期待」



- ・ 令和元年度総社市市民提案型事業の選に漏れたが研究活動の延長として自費活動することを3,4ゼミ生で確認する。
- ・ 短期（1年）、中長期（2年または4年目処）事業活動の立案・実施による回遊訪問客の誘致、定住者の誘導。

- ・ 卒業生、ゼミOBに呼びかけて不要となった「新品」の衣料品や粗品、贈答品等を集めて短期行事の目玉とすることを計画・実施した。



# 令和元年度3,4年ゼミ単独での事業実施と成果

教室だけでは学べない様々な考えの人たちと出会いから新たな課題が見つかってきた。  
あそびのきちおひさま、昭和暮らしプロジェクト、インターナショナルコミュニティ、フィリピーノサークル、倉敷芸能塾、住民グループなどとの協働から「学生への期待」の大きさを感じた。



# 令和2年度総社市市民提案型事業採択と外部環境の変化

乗客感染の確認されたクルーズ船の横浜港入港と国内への広がり（令和2年2月）と専門者会議「症状軽い若い世代が感染広げているおそれ」との見解

全国の自治体で「非常事態宣言」や「休業要請」が相次ぎ、海外との交流、留学生の入国制御。

- ・ 日帰り事業（短期行事）の定期開催企画を令和2年度第1回として8月頃に予定し3～4か月スパンでの定期開催を計画していた。
- ・ 昭和地区の空き家調査と地権者ヒアリング等を3月から着手する。また留学生や外国就労者（家族）のホームステイを受け入れるためのオペレーション体制の構築（中長期行事）を8月初旬～9月上旬に予定していた。



- ・ 地元住民や協力団体の代表者から岡山市内からの住民交流を懸念する意見が数多くあり、すべての行事をしばらく（半年ほど）延期することで合意した。
- ・ 古民家や空き家への宿泊合宿（学生の合宿をイメージ）等は希望するが、あくまでも日本人が対象で外国の方（異文化）が利用することは断りたいとの意見であった。→ 企画中止

# 事業実施についての課題洗い出し

オンラインでの交流会（異文化はペンディング）を10月に開催する

- ・ 新型コロナウイルスによる地域住民の不安拡大

4月の状況が一層深刻化し国内での1日あたりの感染者が200人を超えて推移している。文化交流会の定期開催に向け、「昭和ぐらし」「おひさま」皆様とミーティングを積み重ねていたが、感染の不安から否定的な意見が大勢を占めている。

- ・ 感染対策

今年度は外部との接触を避け、オンラインでの開催と情報・商品・賑わい創造についてシェアリングエコノミーを通じた活動を行うことにした。大学生はモニター越しから卒論アンケートに答えてもらい、昭和地区に賑わいを生み出したい住民は参加者に情報機器の操作方法や遠隔参加のルールを商品提供の個人や企業には交換会の映像提供を行った。

- ・ 来年度のイベント実施の可能性

異文化交流の開催が厳しいため、令和3年度4か5月頃連絡を取り合い年後半以降での日帰り行事開催の可能性を探る。同様にホームステイについての住民アンケート準備を進めたい。

# 令和2年度事業計画の実施状況

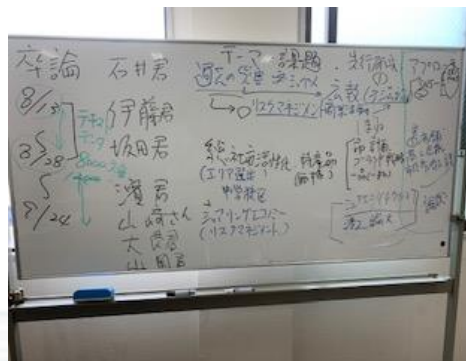
## 日帰り行事の実行協議会

- ・感染症の推移を見守りながらできれば9月以降で再検討することが決まった。

### 令和元年 各グループとの協議会



### 令和2年の様子





# 令和2年度事業計画の実施状況

日帰り行事（シェアリングエコノミーを利用した）の商品を集める活動

事業者イベントへの出展の様子



令和2年個別対応となった



# 令和2年度総社市市民提案型事業の事業計画

日帰り行事と総社市美袋地区の広報活動とチラシ配布

## 令和元年広報チラシと配布活動



## 令和2年告知チラシSNS仕様



# 令和2年度総社市市民提案型事業の事業計画

日帰り行事第1回の会場（10月27日実施）

令和元年異文化交流会の様子



令和2年完全予約制で個別対応



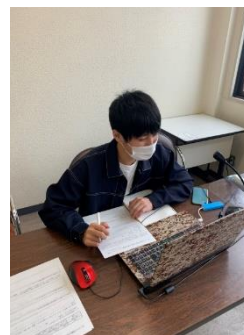
# 令和2年度総社市市民提案型事業の事業計画

日帰り行事運営支援の状況

令和元年出展者・住民活動



令和2年昭和地区・大学の様子



# 総社市市民提案型事業取り組みへの課題

ゼミ活動としてテーマの承継や関心・モチベーションの維持をどうするか。

## 令和3年以降への疑問

- ・感染症対策が本年中に整い、安全性が担保できるのか？
- ・学生の経済環境や社会・地域経済の転換が見込まれるのか？
- ・地域住民が持つ部外者への感情、受け入れ体勢の広がりは？
  
- ・もの・情報・賑わい創造のために物々交換会（シェアリング）が必要か。
- ・寄付、サポート団体からの協力や支援を受けることができるのか。
  
- ・ホームステイや定住者として留学生・外国就労者は対象となるのか。
- ・昭和地区で家守的組織を組成維持が可能か。



## 令和3年以降の対応

- ・大きく状況の変化、例えば対面授業の再開や移動・飲食等制限が解除されるまでは活動中止とする。
- ・総社市、昭和地区などに居住・勤務する卒業生との連絡を頻繁に取り状況確認等の報告をゼミ内で行う。

本日はご清聴いただきまして  
ありがとうございました。

